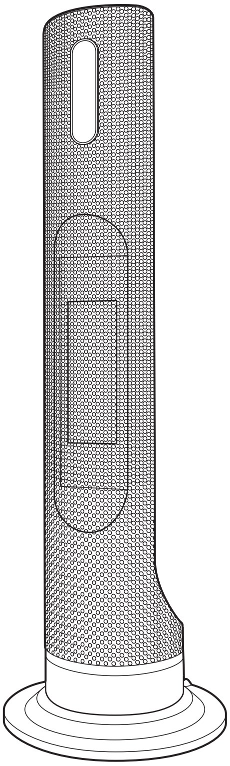
P!ERIA

タワー型セラミックヒーター　DCH-1507

取扱説明書・保証書



　このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

※本機はお客様組み立て商品となっています。

もくじ

安全上のご注意……P. 2～3
各部の名称とはたらき……P. 4
正しい使いかた……P. 5～9
お手入れと保管……P. 10
修理・サービスを依頼する前に……P. 11
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙

仕　様

型　　名	DCH-1507
電　　源	AC100V　50/60Hz
消費電力	強1200W／弱800W
ヒーター	PTCヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ）／温度ヒューズ／NTC（サーモ機能）
電源コード長さ	約1.8m
外形寸法	約 幅260×奥行き260×高さ801mm
質　　量	約3.2kg
付属品	吸気フィルター×1（本体に取り付け済）、リモコン×1、リモコン用コイン形リチウム電池（CR2032）×1、ベース×1、取扱説明書・保証書×1

● 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

7B15A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

分解禁止	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
プラグを抜く	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

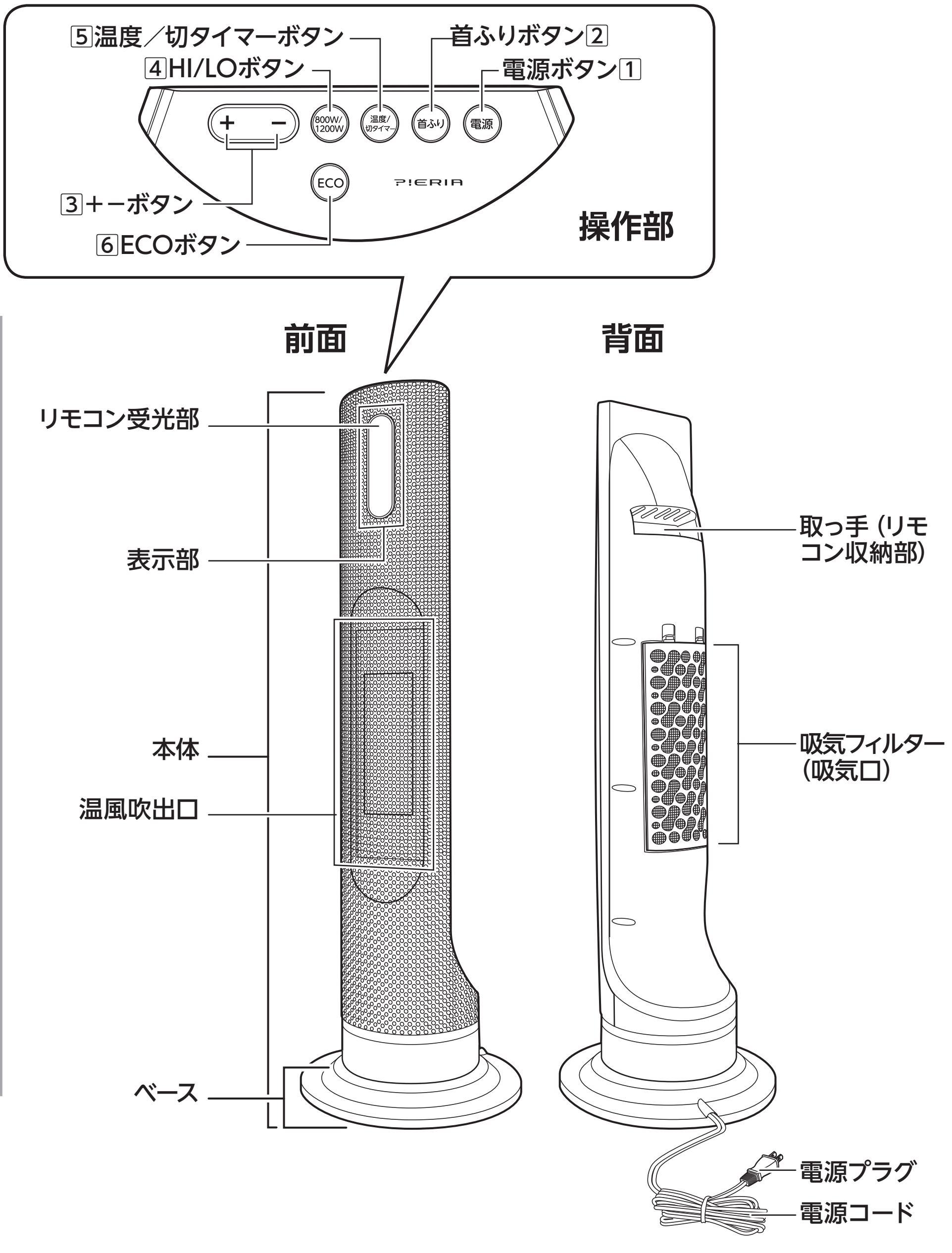
⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		**定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。** 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		**リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。** 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	プラグを抜く	**使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災や故障の原因になります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。		**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して火災、やけどの原因になることがあります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。	水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。

⚠注意

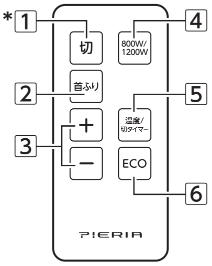
	お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	禁止	**リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れない。** 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。** 感電やショートの原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		**運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。** フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。	指示	**リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。** 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。
禁止	**乾燥など他の用途に使用しない。** 過熱して発火の原因になることがあります。		**長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。** 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		**リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。** そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。	ぬれ手禁止	**電池の交換は濡れた手で行なわない。温度の高いところでは行なわない。** リモコン内部に水滴が付き、故障の原因となります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	接触禁止	**使用中や使用後しばらくは、温風吹出口（高温部）に触れない。** やけどの原因になることがあります。
	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。		

各部の名称とはたらき



付属品

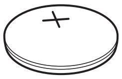
リモコン×1



リモコンのボタン2～6は本体のボタンの2～6と同じ機能です

*1は電源を切ることのみできます。

ボタン形リチウム電池（CR2032）×1



安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き、電源が切れます。
- 温度が上昇しすぎると、NTC（サーモ機能）が働き、自動的に運転を停止します。（温度が下がると運転を開始します。）
  さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。（温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください。）

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

⚠注意	• **使用中は本体から離れない。** • **本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。** • **使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。**

正しい使いかた

使用前の準備
本体の組み立てかた

1. 本体をテーブルなどの上に寝かせる

本体にキズが付かないように、あらかじめテーブルなどに大きな布を敷いておいてください。本体のガード（温風吹出口側）を上向きにして寝かせるように置いてください。

2. 本体にベースを取り付ける

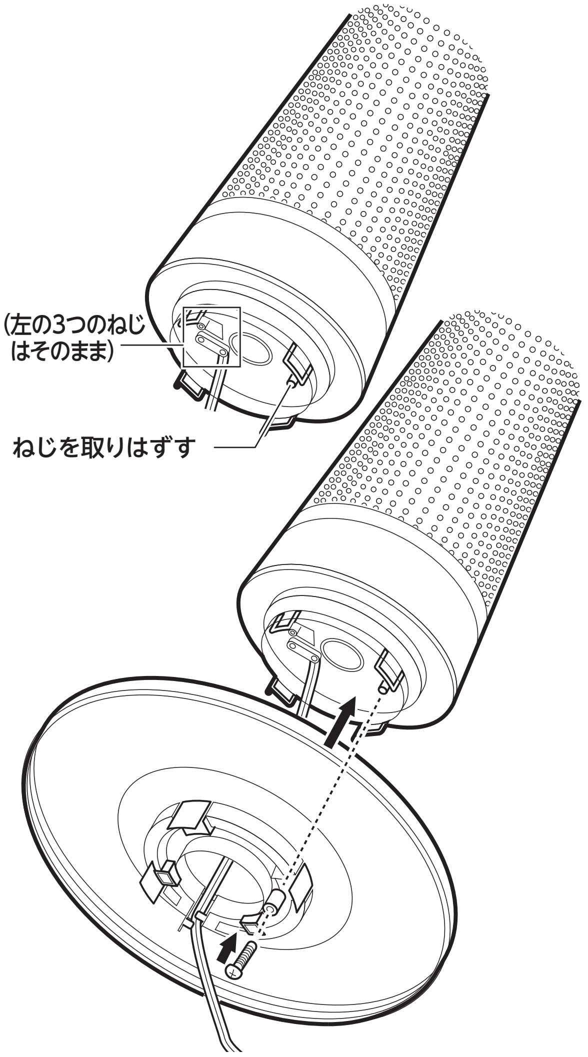
新規購入時、本体に取り付けてあるベース取り付け用ねじを取りはずします（電源コードを固定している左側の3つのねじは取りはずさないでください）。

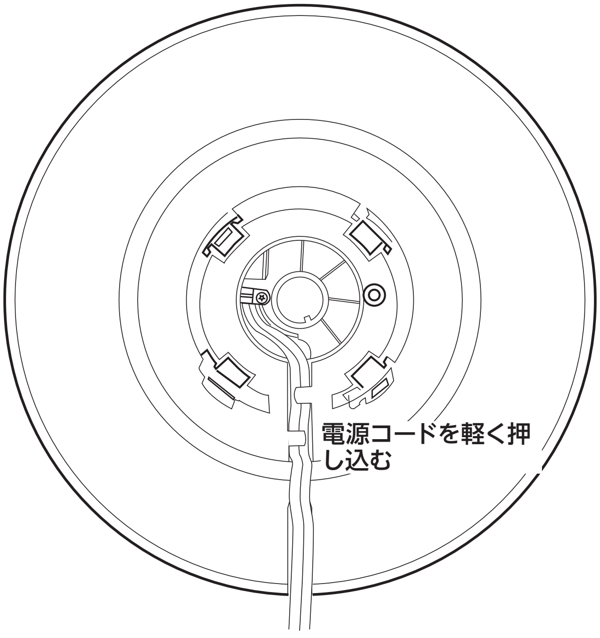
- （ガードを上向きにして寝かせた）本体の底から見て、右側にひとつのねじが取り付けられています。そのねじを、お手持ちのドライバーなどで取りはずしてください。

付属しているベースを裏から見て、コードを這わせるスジを真下にしてベースを取り付け、取りはずしておいたネジで固定します。

- 電源コードをベースの凹部にしっかりと固定します。
- 本体を載せていたテーブルなどから十分気をつけておろし、床に設置してください。

⚠注意	
⚠注意	• ベースを取り付けずに運転しない。 • 本体を組み立てるとき、指などをはさまないように気をつける。 • 電源コードを正しくベースに取り付ける。 • ベースを取り付けるとき、電源コードを本体とベースの間に挟み込まないように気をつける。 • ベースの取り付けが不安定なときは、はじめからやり直す。





正しい使いかた（つづき）

リモコンに電池を入れる

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。

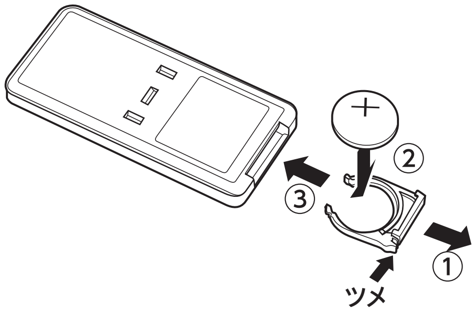
2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする②

電池の⊕側を上にしてセットしてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。

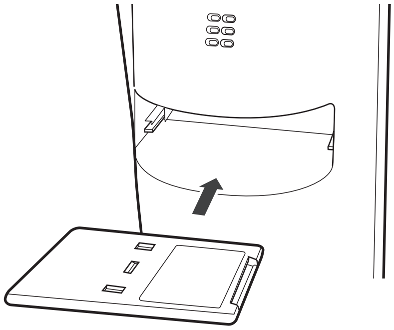
⚠注意	• 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。 • 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。 • 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。 • 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。



使用可能範囲
- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

リモコンの収納

リモコンを使用しないときは、取っ手の下に収納しておくことができます。



設置する

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください（右図）。

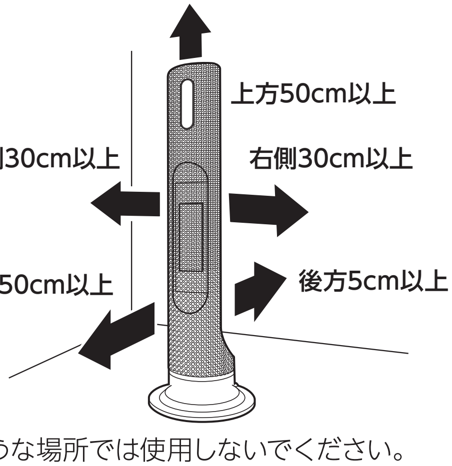
※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

※ 本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ（安全装置）の音であり、異常ではありません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

- “ピッ、ピッ” という音が出ます。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。（火災の原因になります）



次のような場所では使用しないでください。

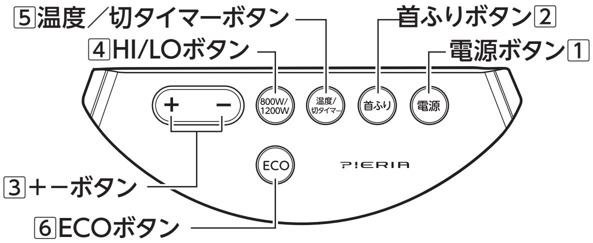
※毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所（本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。）

※カーテンなどが吸気口をふさいだりしないように、十分に離して設置してください。

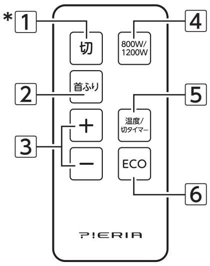
本体操作部

リモコンのボタン 2〜6は本体のボタンの2〜6と同じ機能です

* 1はリモコンでは電源を切ることのみできます。



リモコン



運転の開始／停止

1. 本体の電源ボタン[電源]を押して運転を開始する

電源ボタン[電源]を押すと、表示部に現在の室温を表示し、運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回運転停止時の設定で運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に電源ボタン[電源]を押したときは、それぞれ初期設定値で運転を開始します(メモリー機能枠参照)。
- リモコンでは運転開始することができませんので、本体の電源ボタン[電源]を押します。
- 設定温度よりも室温が高いときは、運転が停止し、ファンが停止します。

2. 温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー](リモコン[温度/切タイマー])を押して、「°C(温度)」にし、+/−ボタン[+ −](リモコン[+][−])で温度を設定する

- 数字表示部分が点滅表示になります。
- 温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー](リモコン[温度/切タイマー])を押すごとに表示部右の部分「H (時間)」「°C (温度)」切り替わります。
- 「°C (温度)」のときに、+/−ボタン[+ −] (リモコン[+][−]) で温度設定をしてください。
- 設定温度は18°Cから30°Cまで設定できます。
- 設定した温度が現在の室温より低いときは、運転が停止します。

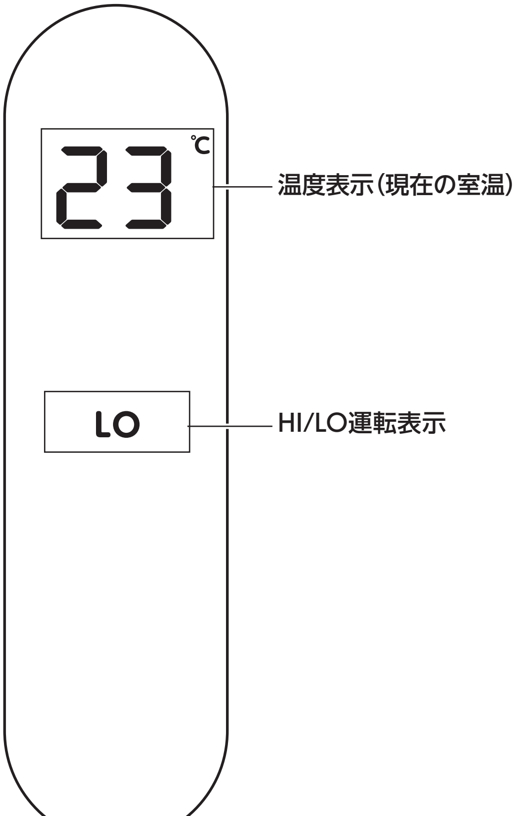
メモリー機能

本体の電源ボタン[電源]を押すと、前回の設定で運転を始めます (設定温度、HI/LO運転、首ふり) 。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 設定温度:25°C、HI/LO運転:LO、首ふり:なし

《表示部・例》



正しい使いかた (つづき)

3. HI/LOボタン(800W/1200W)(リモコン[800W/1200W])を押して、「HI」「LO」運転を切り替える

HI/LOボタン(800W/1200W)(リモコン[800W/1200W])を押すごとに**HI**（1200W）と**LO**（800W）運転を切り替えることができます。

- 運転ランプHIとLOが切り替わります。
- **HI**と**LO**を切り替えても、風量は変化しません。

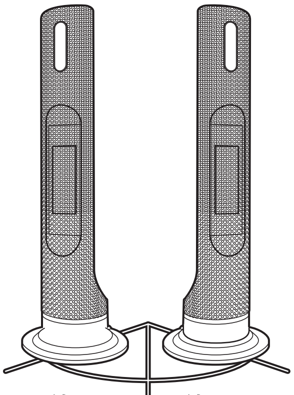
HI/LOボタン(800W/1200W)（[800W/1200W]）押すたびに

→**HI**（1200W）→**LO**（800W）

4. 首ふり運転を開始／停止させるときは、首ふりボタン(温度/切タイマー)(リモコン[温度/切タイマー])を押す

首ふりボタン(首ふり)(リモコン[温度/切タイマー])を押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと、首ふり運転を停止します。

- ベースよりも上が動いて首ふり運転をします。
- 電源コードが出てきているところを中心として、左右約40°首ふり運転をします。



約40°　約40°

5. 電源ボタン(電源)(リモコン[切])を押して運転を停止する

運転停止すると、表示部は10からカウントダウンを開始し、ヒーターを冷やすため約10秒間ファンが回り続け、表示が消えるとファンも止まります。

- ヒーターが熱くないとき（温度設定より高い室温が続いたときなど）は、ファンは回らず、カウントダウンのみ行なわれることがあります。
- 電源ボタン(電源)(リモコン[切])を押して電源を切っただけでは待機電力を消費します。使用を終えましたら、電源プラグを抜いてください。

6. 電源プラグを抜く

ファンが停止したことを確認してから電源プラグを抜いてください。

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転は自動的に停止します。

減光モード

インジケーターやランプがまぶしいときに、本体またはリモコンのECOボタン(ECO)(リモコン[ECO])を長押し(3秒以上)すると、減光モードに設定することができます。

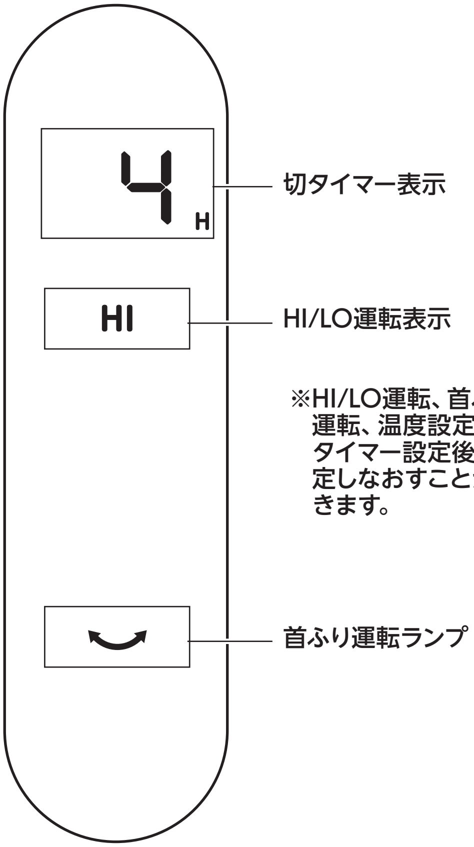
- 電源を一旦切って再度入れると、減光モードが解除されます

切タイマーの設定

設定した時間になると自動的に電源を切る、切タイマーを設定することができます。

1. **切タイマーを設定するときは、温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー] (リモコン[温度/切タイマー]) を押して「H(時間)」にし、+/ーボタン[+ −] (リモコン[+][−]) で時間を設定する**
   - 数字表示部分が点滅表示になります。
   - 温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー](リモコン[温度/切タイマー])を押すごとに表示部右の部分「H（時間）」「°C（温度）」切り替わります。
   - 「H（時間）」のときに、+/ーボタン[+ −]（リモコン[+][−]）で温度設定をしてください。
   - 1時間単位で12時間まで設定できます。
2. **切タイマー設定しての運転時は、温度表示と切タイマー残り時間を交互に表示します**
3. **切タイマーをキャンセルするには、温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー] (リモコン[温度/切タイマー]) を押して「H(時間)」にし、+/ーボタン[+ −] (リモコン[+][−]) で時間を「0」に設定する**
   - 温度表示のみの表示になります。
   - 温度／切タイマーボタン[温度/切タイマー](リモコン[温度/切タイマー])を押す。

《表示部・例》



※HI/LO運転、首ふり運転、温度設定は切タイマー設定後も設定しなおすことができます。

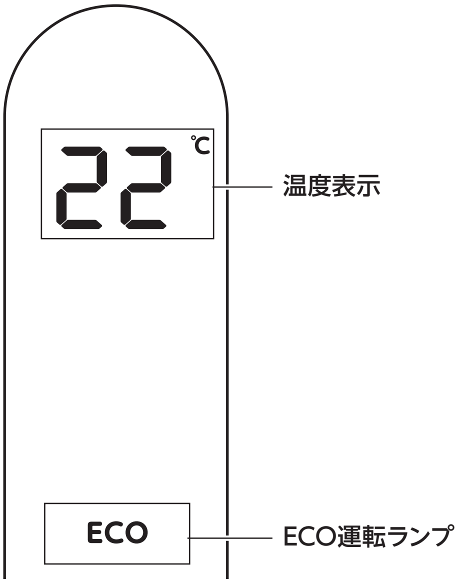
ECOモードの設定

ECOモードは、基本的に18°C以上22°Cまでを維持します。

1. **ECOモードを設定するときは、ECOボタン[ECO] (リモコン[ECO]) を押す**
   - ECOモードを設定したとき、温度が18°C以下のときはHI運転をします。
   - ECOモードで18°C～22°CはLOで運転します。
   - ECOモードを設定したとき、温度が22°C以上のときは、運転をしません。
2. **ECOモードをキャンセルするときは、ECOボタン[ECO] (リモコン[ECO]) を押す**

   通常の温度設定に戻ります。

《表示部・例》



お手入れと保管

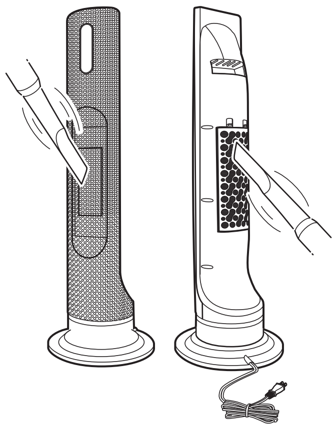
⚠警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。** 感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。

※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。変質・変形の原因になります。

※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）



本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

吸気口／温風吹出口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。
汚れがひどいときは、吸気フィルターを取りはずしてお手入れをします。

吸気フィルターのお手入れ

下記の手順に従って行なってください。

① 本体から吸気フィルターを取りはずす。

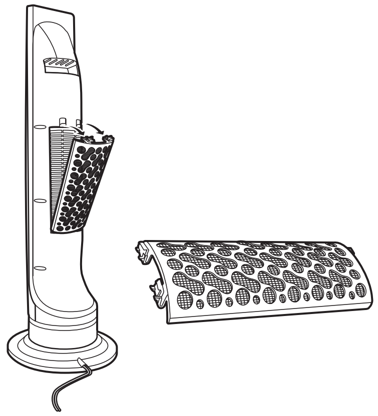
② 吸気フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でていねいに取り除く。

　※ 吸気フィルターの汚れがひどい時は、ていねいに水洗い(手洗い) をしてください。強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因となることがあります。

③ 吸気フィルターを本体へ取り付ける。

　※ 吸気フィルターを水洗いしたときは、十分に乾燥させてから取り付けてください。

※ お手入れのあとは、必ず吸気フィルターを本体に取り付けてください。



吸気フィルターの交換

交換吸気フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室 (裏表紙参照) にお問い合わせください。

※ 吸気フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【吸気フィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合などは、吸気フィルターを購入してください。

※ 吸気フィルターは水洗いできます。

商品名：プレフィルター (1個)
PFT-DCH1407
メーカー希望小売価格￥1,000 (税抜)

保管のしかた

※ お手入れの後、よく乾燥させてください。

※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていない(転倒オフスイッチが働いている)	置き場所を確認してください(安定した水平な場所に置く)
	・安全装置(温度ヒューズ)が働いている(4ページをご参照ください)	販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください
電源ボタン(電源)(リモコン[切])で切にしていないのに運転停止している	・切り忘れ防止機能で運転停止した	最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止するので、再度電源ボタン(電源)を押して運転を開始します
	・設定温度よりも高い温度になったので運転停止した	設定温度を今の温度よりも高い温度に変えてください
	・ECOモードで運転中、22°C以上の温度になった	温度が22°Cを下まわると運転を開始します
	・切タイマーが作動した	問題ありません。再度電源ボタン(電源)を押して運転を開始させてください
運転停止させてもファンが回ったままになる	・ヒーターを冷やすために約10秒間まわっている	問題ありません
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を交換してください
	・リモコンの電池の極性⊕⊖を間違えている	リモコンの電池の極性⊕⊖を確認して、正しく入れなおしてください
	・リモコンで電源を入れようとしている	リモコンで電源を入れることはできません
	・リモコンの操作できる範囲外から操作している	本体の受光部に近づける、受光部に対して動作できる角度で操作してください

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。